

又^{また}あうと
(坂本龍馬^{さかもとりようま})

解説 最晩年の龍馬が旅に出る際、妻・お龍^{りよう}に贈った歌と伝えられる。

又^{また}あうと
思う^{おも}心^{こころ}を
しるべにて

語釈 ※しるべⅡあ道案内をすること。また、その人やそのもの。

道^{みち}なき
世^よにも
出^いずる
旅^{たび}かな

通釈 また逢えらると思う心を道標^{みちしるべ}にして、道のない世にも出てゆく旅^{たび}だなあ。